

## 開催記録

名 称	第1回会津美里町第3次総合計画審議会
開催日時	令和元年5月17日（金） 午前10時00分から午前11時37分まで
開催場所	本庁舎 206会議室
出席者	委員別紙名簿のとおり（欠席委員2名 大竹勉委員、須田健志委員） 事務局 政策財政課鈴木國人課長、金子吉弘課長補佐、政策企画係川田浩泰係長、大竹克昌
議 題	・会津美里町第3次総合計画後期基本計画等の策定について ・会津美里町第3次総合計画後期基本計画等策定支援業務について ・今後の総合計画審議会のスケジュールについて
資料の名称	・第1回会津美里町第3次総合計画審議会 会議資料一式
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
内容	
<p>1 委嘱状交付（代表者交付）     公募委員 秋本 尚恵氏</p> <p>2 開 会（省略）</p> <p>3 挨拶（会津美里町町長 渡部英敏、省略）</p> <p>4 自己紹介（省略）</p> <p>5 会長及び副会長選出     審議会条例第5条第2項に基づき、委員の互選により選出。     会 長：会津大学短期大学部教授 石光 真 氏     副会長：会津よつば農業協同組合高田支店長 佐々木 正直 氏</p> <p>6 議 題（座長：石光真氏） （1）会津美里町第3次総合基本計画等の策定について     【説明者：政策財政課政策企画係大竹克昌】     説明者より、会議資料に基づき説明。     （会長）只今、事務局から説明がありました。ご質問等はございませんか。     （委員）まず、資料について一読してから来てくださいということでしたので、一応、さざっと目を通してきたところですが、資料1の14頁の12番にあるICT調査研究事業は、平成32年度からとあるんですね。ICTを使ってどうこうというの</p>	

は全国的に様々な例が出ているにも関わらず、今年度にやらなくて来年度からというのは、どういうことなのかなど。つまり、全国的にもですね、会津の場合は会津大学がある。あるいは会津若松市ではICTを使ってやっている。あるいは、ICTの集積の会社が集まって色々なことをやっていることからすれば、なぜ、1年待ってこういうのを始めるというのは、私にはちょっと理解ができない。そんなに金が掛かることではないですね、別に。調査ですから。それを1年遅れにするっていうのは、さきほど総合計画の後期基本計画あるいは総合戦略を今年度中あるいは来年度の9月までにということを考えれば、今のうちにやっておかなかつたら意味がないんじゃないかと私は思うんですが、その点ですね。

(会長) それでは、事務局お願いします。

(事務局) 只今、ご質問いただきましたICT調査研究事業につきましては、平成32年度からと表記しておりますが、今年度から、別な事業であります大学連携事業ということで、既に会津大学と連携しまして、窓口業務の一元化等についてICTを導入できないかということで進めております。そちらの方で調査させていただいて、ICT調査研究事業に繋いでいこうということで進めております。委員仰るように、ICTにつきましては重要なものと捉えておりますし、国でも進めておりますように、第3次総合計画にも盛り込んでいく必要があるテーマと認識しております。

(会長) 他にご意見、ご質問等はございませんか。

(会長) 今程のICTであります、相手先ですが私の勤め先でもあります会津大学ですが、私は短大ですが、担当部署で受け付けております。今年、ICTセンターというのが立ち上がったんですね。結構時間が掛かりましたし、企業が来てくれるかということで私は冷や冷やでした。これは予算の掛かることであります。会津大学も一つの大学ですから、何でもできるわけではありませんね。会津美里町との協議を始めさせていただいて、研究していただいているということで、立場は変わりますが、よろしくお願ひしたいと思います。

(会長) 他にご意見、ご質問等はございませんか。

(委員) では、1点だけ。第3次総合計画の部分の中で、目標人口云々かんぬんとありますけど。11頁ですが、合計特殊出生率が載っております。これ、期間を1年とみて出す方式ですが、合計特殊出生率は2つの出す方法があるんですね。これも正しい方式ではありますが、もう一つは、その年代が50歳になるまでにずっと追求めて行ってその積算の部分で出す方式。多分、私の記憶違いでなければ、国立人口問題研究所で出しているのはそっちの方なんですね。どっちかという、この合計特殊出生率の出し方は、税金で言うとも早見表みたいなものです。若干、数値は変わってくるんですね。今の日本は晩婚化になっておりますので、意外とこの数値が正しいかという若干のずれが出てきているはずなんです。ある意味百歩譲っても、書き方として合計特殊出生率というのは、二

通りの出し方があって、うちの場合は、こういう事だからこれを使ってますくらい説明がないと、これしかないみたいに聞こえるんですね。これは大いに間違いなんで研究してほしいと思います。

(会長) はい。事務局。

(事務局) 委員仰るように、今後の人口推計を出す際の参考とさせていただきます。当然、計画策定に係る人口推計値につきましては、委員の皆様にご説明させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

(会長) 合計特殊出生率というのは、今いる年齢層の人が、違う生まれの世代の人たちが同じ一人の女性とした場合として、ちょっとバーチャルなものなんですね。もうひとつが、特殊のない出生率というので、何年生まれの人が、これから結婚するかもしれないという事もある訳で、多少、楽観的な数値が出てくると思います。ただ、今までその通りにはなっていないですよ。推計予想よりも多分ハイ予想に近づいてきて、世代が変わることで実際は子供が減っているということで、合計特殊出生率 TFR あって中期がないですから、そのデータの種類については明記した方がいいと思います。

(会長) 他にございませんでしょうか。なければ、全体的な話をさせていただきました。基本構想で、「まるごといいね!」というスローガンを掲げている。次に向けた後期の計画を立てていきましょう。そして、人口ビジョン総合戦略についても、人口の問題は重要な課題であります。私の感想を言いますと、この人口推計で言いますとこの 13 頁にあります将来目標ですが、頑張っとうふうにはならないようにしましょう。私は、感心しています。比較的、現実的だと。会津若松のこの計画では、ある年になると横ばいになるといっています。これ以上減らないと。ちょっとそれはないでしょうと思いますし、現実離れた目標を立てています。美里町は頑張るけれども人口は減っていくことを認めているという事は現実的なのではないのかなと思います。ただ、成行値は下がっていくので頑張っていくましようということで、バランスの取れた推計だと思います。

(会長) 他にご質問等はございませんか。

(委員) なし。

(会長) それでは、次の議題に入ります。

## (2) 会津美里町第3次総合基本計画等策定支援業務について

【説明者：政策財政課政策企画係大竹克昌】

説明者より、会議資料に基づき説明。

(会長) 只今、事務局から説明がありました。ご質問等はございませんか。

(委員) スケジュールと関連してくるんですけど、スケジュールの方を見ると総合計画審議会というのは、総合計画骨子案の審議となっています。どの範囲までなのか。最終的には計画案までなんだろうけど。例えば、第3回目はどの程度の範囲までなのかね。今程の説明ですと随時、調査結果したものを説明するとい

う形なのかを伺います。

(会長) はい。事務局。

(事務局) 只今、ご質問いただきましたスケジュールに関してですが、資料の方は14頁をご覧くださいと思います。この資料は、次の議題の資料となりますが、ご質問に関連した資料となりますので、ご説明いたします。本審議会のスケジュールは、表の上段の予定となります。本日の第1回会議以降、7月に第2回を予定しております。11月から12月の第3回会議で計画骨子案の検討、翌年3月の第4回会議で計画骨子案の策定を経まして、令和2年7月の第5回会議で計画案の答申を予定しております。ご質問の第3回会議での計画骨子案の検討について予定している内容でございますが、その前段として、第2回目で予定している町民アンケート結果につきましては、毎年実施している町民アンケート調査の当該年度分の結果分析を行っておりますが、第3期総合計画期間で実施した町民アンケート調査結果の積み上げ等による深掘した結果分析について、業務委託において分析したものを審議いただく予定でございます。第3回につきましては、表の下の方に記載しました庁内での会議や、町民によるワークショップでの開催を予定しております。そこでいただきました町民意見等を踏まえた計画骨子案をまとめたいと考えておりますので、計画案の概要を第3回でご説明申し上げ、調査審議をお願いする予定でございます。説明での随時というものにつきましては、各種調査結果や整理したものを本審議会でご覧いただく機会があるごとに報告・説明させていただくことでご理解いただければと思います。第4回会議につきましては、第3回会議での意見等も踏まえ、計画骨子案の策定に向け、細かい内容等の整理を行いまして、計画骨子案についてご説明させていただく予定でございます。その後、新年度に入りまして、町民懇談会、パブリックコメントという町民参加の手段を講じ、町民の意見を踏まえて計画案を整理し、第5回会議で説明し、答申をまとめる予定でございます。説明が長くなり、大変申し訳ございませんが、以上となります。

(会長) ありがとうございます。次の議題にも関連しましたが、委託の内容にも関わりますので、本審議会のスケジュールについてご説明いただきました。

(委員) 私は、プロポーザルで受けた業者が出してきたものが骨子案であって、それを検討するのかなと思っておりました。ワークショップとかアンケート結果のどうのこうのなんていうのは、町がやったっていいし、業者がやってもいい話でね、何で我々がやらなくちゃならないのかなとつくづく思いました。これは、意見です。もう1点は、12頁に載っているKPIを整理するとなっているんですね。最初に第3次総合計画を作った時のことを覚えているんですけども、一番重要だったのは、この指標がですね本当にいいのかどうかという妥当性の問題だと思うんですよ。例えば、具体的な例を挙げて言いますが、農業の振興ですが、副会長さん、私より何十倍も詳しいと思うんですけど、農業振興の成果指標で農業総収入とあるんですね。若干、職員に聞いたところ、これは農家の

方が農協に出荷した額を出しているという話しなんです。美里町の農業生産額は、総務省の統計調査によると約 58 億なんです。その内、35 億弱が米。これが基本ですね。その次に多いのは野菜です。露地栽培で 10 億位です。私がびっくりしたのは 3 番目が果樹なんです。果樹の栽培額が 7 億 6 千万で、福島県内では多分 6 番目位なんです。会津若松市は 7 番目なんです。うちよりも低いんですよ。会津若松市の果樹栽培は言ってみれば北会津の農業、果樹なんです。ですから、表現上は北会津イコール果樹っていうイメージがありますが、実態は美里町の方がすごく多いんですよ。だけどイメージとしてない。というのは、PR 不足とか色々な部分があるんですよ。実態的にはこの部分は伸び代が高いんですよ。そういうのは成果指標に挙がってこないんですよ。挙げやすい数字だけ挙げているんですね。さっき言った農業総収入みたいなんです。職員の人を悪いとは言いませんけども、出しやすい数字だけ出しているんですね。それではまるごといいね！にはなっていないんですよ。ですから、そういう指標の妥当性というのは、この資料を読む限りでは整理するだけであって、どこでやるのかというのが、私はここが一番の問題点だと思うんですよ。あるいは、総合計画審議会で今までの単に一般町民のアンケート、それも悪いとは言いませんよ。あるいはワークショップの結果も悪いと言いませんが、でも、その本質的な部分を審議して行かないと、先ほど、町長が言ったですね、皆さんから幅広い意見を求めたいという事にはなっていないんじゃないのかと私は思うんですね。単なる審議会ですから、確かにお墨付き的な所はありますけれども、単にやったというだけのお墨付きの会議になってしまう。そういう本質的な所を一緒にやっていくということが、美里町の行政に対する一般住民との連携というか、町は一般住民のことを考えて作っているんだな。基本的には、総合計画は皆で作る計画なんで、一応、お膳立てして会議はしました、答申しましたという形を作るもんじゃないと思うんですよ。昔はそういう方式でやっていたのが多いのかと思うけど、これからの会議はそれでは駄目ではないのかなと。そう言うのを踏まえて、もうちょっと実のあることをやらせるための会議に、是非、してほしいなと思います。

(会長) ありがとうございます。委員ご指摘の KPI を見てても知識がないと、まあそうだろうなって思っちゃいますよね。KPI を設定する場合は、それが妥当かという話しもやっていく場所ですよ。

(事務局) ご意見ありがとうございます。確かに、この目標値として各種 KPI を定めさせていただいておりますけれども、こちらはやはり前期基本計画の分析をした上で、後期基本計画では何を進めるべきかという審議を庁内で審議し、さらにワークショップで町民の意見も聞いて行く予定をしております。さらに、そのような結果を踏まえて、基本構想の実現に向けて何が必要かということになりますので、その目標が見えてきます。その目標を達成するための具体的な指標を捉えることで評価もできることになります。その評価をしっかりと適正に行

えるような指標、KPI を考えて行きたいと考えております。それは、業者任せではなく、業者の提案を踏まえながら庁内で検討し、考えて行きたいと思えます。皆様からの意見もいただけるようにしたいと考えております。審議会において、KPI についても審議できるような資料の提供できるように考えて行きたいと思っております。委員のご意見につきましては、参考にさせていただきたいと思えます。

(会長) コンサルは、必ずしも地元のことは知らないでしょうから。綺麗な文章をまとめるだけということもありますからね。他にご質問等はありませんか。

(委員) 今、農業のことなんですけど。私は、新鶴の出戸田沢に住んでいるんですけどね。高齢者が多いわけで田んぼを委託契約しているんですね。それが返された場合に土地を売りたい。そうすると誰もやってくれる人がいなくなり、収入もなくなる。そうなれば格差社会が出てくる時代になると思うんですよね。その場合に美里町ではどう考えて行くかですよね。また、空き家という課題もあると思うんですけど、私の集落では、将来的には15年後になりますと15軒位かなと。残るのが。そして、今現在も空いている所はあります。それも傷んでおりますので、風が強いと雨樋が飛んで来たり、そういう対策も必要かなと。色々な面で細かい点まで考えて行かないと、子どもたちも雇用の場がない訳で皆、東京に行って帰ってこない。仕事がない。会津に来たいけど来れない。家が空いていて親が70、80歳近い。雪が降る所には入れない。戻ってきている子どももいますが、不自由だと。色々な住宅の問題で吹上台住宅でも土地を無償で提供して、家を町で建てて、若い方に入ってくださいと。20年後に自分の家になりますよという夢のある住宅も考えてほしいと思えます。現在、吹上台住宅の空いている所に提供して行くことも必要かと思えます。

(会長) ありがとうございます。事務局。

(事務局) ご意見ありがとうございます。委員仰るように農業は、本町の主要産業でありますから、各種課題もごさいます。担当課でも行政評価制度により、各種事業に取り組んだ結果を踏まえ、改善・改革すべき点やさらに伸ばすべき点などについて振り返りをして、翌年度以降に繋げております。その評価結果を計画策定に反映できるように議論して行きたいと考えております。新たに若者が住めるようにという課題に対しまして、今年度から若者定住住宅に関する補助金制度を構築するなど、若者が移住・定住できるような事業に取り組んでおります。これは、人口減少対策として総合戦略には欠かせない施策でございますので、これまでの取り組みを分析し、盛り込んでいくこととなりますので、貴重なご意見として承らせていただきます。

(委員) 委員仰るように高齢者で後継者がいない。その分を都会のやる気があるIターンに求めて、経験と感の部分でICTで補うというのが、この計画だと思うんです。だから、平成32年度から調査をするというのは全く違う。それで一体的に町がやっていかなかったら、我々に渡った資料でも総合計画と総合戦略は一体

的に動かしていきますよという話で、今の話も同じですよ。これもたまたま農業の話ですけど、連動してくる話ですので、是非、やっていただきたい。

(事務局) 貴重なご意見として承らせていただきます。

(会長) 会津大学ってハイテクを基本にやっています。地元から見たことをやってはいるんですが、実は委託があれば色々な事をやっているんです。熊とかイノシシを探知してどうにかするというテクノロジーなんです。それ、コンピューター使えば簡単にできるんですよ。なぜ、会津大学がそんなことをやるかという、疑ったんですよ。ですから、今の後継者問題とか、どうしていいかわからないですけども、わからないまま嘆いてみるよりも、解決できるかはわかりませんが、予算と知識と人手はありますけれども、この計画に関わらずできる所があれば、持ち込んでいただければ、そういうことを考えることが業務です。今、困っていることを教えてあげないと知らないですから。彼らは、コンピューターのことしか知らないですから。地元で困っていること、農業のことで、ここが困っていることを投げ掛けて、是非、ご活用ください。

(会長) 他にございませんか。今、ご説明いただいたことは、5頁は計画策定支援業務のプロポーザル審査を含めての仕様書ですよ。8頁以降の等がついていないのが、それぞれの仕様書ということですよ。分かりやすく業務の前に委託を入れた方がいいような気がします。でも、役所の方が分かっていたら問題ありません。

(会長) 今まで出た意見は、具体的に農業であるとか、果樹で攻めるとか、空き家であるとか、抜き出した話を出した方が面白いんですよ。ポツという所があった方が面白いんですよ。人口についてもどこも同じなんです。同じながら一つこの町で出せるデータなんかがあれば出したいなと思うんですよ。町長の話でね、委員の方の転入について把握していると。全て把握しているとは限りません。黙って転入してきている場合は、プライバシーの問題もありますし、「こんな方が来たよー。」というには言えないですけども。U・Iターンした人がどういうことで来たのかを、単なる手続きでやってるだけなんですよ。どこかで集計する作業をプライバシーを守った上でやった方がいいんじゃないのかと。どこかで、プライバシーとの両立を考えながら、転入者の把握ができるコンサルがほかで手に入れないデータが取れるし、今後の対策になるのかなと思います。無い物ねだりかもしれませんが。

(委員) 農協につきましては、会津一円で合併しまして3年が経過し、4年目の事業がスタートしております。来週の土曜日に通常総代会が開催されます。単年度の事業計画も承認いただくことになる訳ですが、地域農業振興計画ということで3か年の計画を策定しました。会津全体となりますが、美里町に係る計画施策もあります。地域にあった計画もありますので、その内容を見てもらいたいと思います。町の方には、3月に説明に伺っており、冊子もできております。先ほどの意見にもありましたように、農業者も若手の後継者が減っております。

し、耕作放棄地も増えている。水田に関しては、ICT とかスマート農業で勝負はできるかと思います。果樹に関しては、後継者もいないので 70 代の農業者がかなり多いです。果樹栽培を辞めてしまった場合に、伐採して綺麗な畑にできるかという問題と鳥獣害の温床になる危険性が十分にありますので、畑作についても注意して推進する必要があると捉えております。ということで、総代会で承認され次第、実行して行くこととなりますので、参考にいただければと思います。

(会長) ありがとうございます。実際は、仕事を創る、産業を振興するということは民間がやることでして、役所がやることは、それを全体で見て、できることとか、どうこうするとか、連携することでして、この会には、農業とか、商工とかそれぞれ攻めの分野の方がいらっしゃる訳ですから、そこでできることとか、やりたいこととかを集約しまして、何らかのエッジが効いた施策に繋げていける専門的知識が活かされればと思います。皆さんの知恵を盛り込んで行ければ実のある計画がより一層充実することと思います。

(会長) 他にご質問等はございませんか。

(委員) なし。

(会長) それでは、次の議題に入ります。

### (3) 今後の総合計画審議会のスケジュールについて

【説明者：政策財政課政策企画係大竹克昌】

説明者より、会議資料に基づき説明。

(会長) 只今の事務局から説明がありました。ご質問等はございませんか。

(委員) なし。

## 7 その他

(委員) 私、つくづく思うんですが、昔、経済産業省へ陳情に行ったことがあります。復興の陳情だったんですけども。その時の経済産業省の副大臣が言われたのが今でも残っているんですが、皆さん復興というのはいずれ終わりますよ、お金も終わりますよ。大事なことは、皆さんの町は何で勝負するんですか。これが一番記憶に残っています。うちの町はこういう計画もそうですが、神社があるとか瀬戸物があるとか何があるとか諸々言うておりますが、結局、最後にこの町は何なんだと明確に答えられないんですね。だから、何で勝負するんだっていうのは、簡単そうでこれが一番分かりやすいかなと。是非、そういうものを我々一般住民も含めて共通項として言えるようなものを行政も一緒になって考えるべきかなというのが 1 点と。日本も昔は親と住むのが当たり前だった訳ですが、ヨーロッパやアメリカのようにある程度の年代になると親と離れるというのはおかしいですが、子どもは子どもの世界で住んでいくような時代になってきているのかなと。それを踏まえて考えて行かないと駄目なのかなと。で



すから、もちろん一緒に住むのはいいんですよ。例えば、何でもできるような隣町に住んでいても直ぐに来れるような範囲といたしますか、会津の近隣町村の中で人口の推移がどうなのかというのを見て行ってもいいのかなと、私は最近思っています。町の単位で人口が減った少ないだけ見ても、そんな時代じゃないんじゃないかと。ですから、うちの町の場合で言えば、若松とか坂下とか近隣の中で減っていなければある程度私はいいのかなと思っています。そういう考えを持って行かないと美里町だけでの人口の増えた減ったを追い求めても中々解決策にはなっていないのかなと思っています。

(事務局) 貴重なご意見として承らせていただきます。ありがとうございました。

事務局からの連絡事項になります。今日の会議の出席者報酬の振込みは6月5日予定となります。

## 8 閉 会(省略)

以上、開催記録として報告します。